南信州広域連合第２回広域連合会議　結果報告

日時：令和５年５月 16 日(火)　15：15～17：00
場所：事務センター206・207 号会議室

【出席者】13 市町村長(下條村欠席)、副管理者
〔株式会社南信州観光公社〕高橋代表取締役社長・藤澤取締役・竹前地域振興部長
〔南信州地域振興局〕丹羽局長
〔飯田建設事務所〕唐沢所長
〔下伊那郡町村会〕岡庭事務局長
〔飯田広域消防〕北澤消防長・林総務課専門主査
〔環境センター〕飯田事務長
〔事務局〕吉川事務局長・小椋事務局次長兼総務課長兼地域医療福祉連携課長
壬生広域振興係長・伊藤庶務係長・久保田庶務係主事・宮﨑庶務係主事

１　開会…15：15

２　広域連合長あいさつ

今年度第２回の広域連合会議です。４月 29 日に創造館の利用者と懇談会を行った。懇談会に先立ち、創造館を考える会が集めた 5,128 筆の署名を頂いた。署名の内容は創造館の存続を求めるもの、あるいは同等以上の機能を持ったものを作ってほしいというもの。私からは、事務センターの一部を使用して活動場所を確保することを提案し、長野県、広域連合及び利用者の３者が入った協議の場で物事を考えていきたいと提案した。

５月８日から新型コロナウイルス感染症が５類へ移行している。ゴールデンウィーク中から人の流れが活発になっており、飯田市立動物園の 70 周年記念式典には一日で 3,000 人以上のご来園者があった。オーケストラと友に音楽祭も満席になったり、人の動きが活発になっていることを実感した。一方で、すでに数字は公表されなくなっているものの、松岡保健所長からは、やはり高齢者の感染がまだまだ減っていないという注意喚起を頂いている。我々としてはいろいろなイベントや行事は with コロナで行っていくが、高齢者施設や高齢者が集まるような場所では、引き続き感染防止を呼び掛けながら行っていきたい。新型コロナウイルス感染症については今後もみなさんと情報共有しながら進めていきたい。

３　協議・報告事項

(1) 副広域連合長の互選について　　【事務局長】

※広域連合規約第 13 条において副広域連合長の任期は副広域連合長の属する市町村の長としての任期によるとなっており、また、広域連合規約第 12 条第３項では副広域連合長は広域連合長以外の関係市町村の長の内から関係市町村の長がこれを互選するとなっている。
この度、下平豊丘村長が任期満了となり、再選されたため、改めて副広域連合長の互選をするもの。

連合長：引き続き下平豊丘村長へ副広域連合長をお願いしたいと考えている。
全　体：異議なし
連合長：副広域連合長は下平豊丘村長へ引き続きお願いすることとする。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策について
※飯田保健所長欠席のため事務局長が説明
ア 新型コロナウイルス感染症の発生状況及び今後の対応について　【事務局長】　～資料No. 1-1～
飯田下伊那地域の新型コロナウイルス発生状況及び新型コロナウイルス５類移行後の市町村対応について説明がなされた。
イ 救急活動における新型コロナウイルス感染症への対応状況について【消防長】～資料No. 1-2～
新型コロナウイルス５類移行後においても従前の対応を継続して行っていく。今後の感染者数等の推移を見ながら進めていきたい。

(主な意見等)
連合長：　飯田保健所からの資料については、長野県内の陽性者発生状況は累計１万人あたり 2,314 人で約 23%の方が既に陽性者として確認されている。南信州圏域については１万人あたり 2,545 人と県内で人口あたりの陽性者数が一番多い地域とされている。飯田保健所長の分析では、全国的に血清から見た罹患者数と陽性者数には約 10%差異がある。南信州圏域については血清から見た罹患者数と実際の陽性者数の差異が少ないことから、検査での取りこぼしが少ないことが、他の地域よりも陽性者数が多く見える原因であると分析する。
また、年齢が 70 歳以上の感染者が、令和４年 10 月までは、約１割だったが、令和５年５月については 30%を超えている。高齢者の感染割合が増えていることが心配である。

(3) 株式会社南信州観光公社の運営状況について　【株式会社南信州観光公社】～資料№.２～
事業内容・運営状況についての報告
2023 年度広域観光振興事業についての資料に基づき説明がなされた。

(質疑なし)

(4) 令和５年南信州広域連合議会第１回臨時会について　【事務局次長】～資料№.３～
ア 開催日時　令和５年５月 29 日(月)　10 時 00 分から
イ 開催場所　エスバード
ウ 付議事件　報告１件
専決処分の承認を求めることについて(令和４年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算(第３号)
・繰越明許費の補正(消防広報連絡車更新 3,920 千円、消防吏員貸与品購入 1,257 千円)
人事案件１件
監査委員の選任について
・令和５年５月１日から不在となっている監査委員(議員)の後任を選任するもの
エ 議会日程
(日程１) 会議成立宣言
(日程２) 議員辞職許可報告
(日程３) 仮議席の指定
(日程４) 議長選挙
(日程５) 副議長選挙
(日程６) 議席の指定
(日程７) 議会運営委員の選任
(日程８) 総務産業委員の選任
(日程９) 医療福祉委員の選任
(日程 10) 消防環境委員の選任

（日程 11）会期の決定（議会運営委員長報告）
（日程 12）議案説明者出席要請報告
（日程 13）会議録署名議員指名
（日程 14）広域連合長あいさつ
（日程 15）監査報告
（日程 16）報告
報告第１号　専決処分の承認を求めることについて（令和４年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計補正予算（第３号））
（日程 17）議案審議
○ 人事案件
議案第９号　監査委員の選任について

(5) 飯田創造館閉館への対応状況について　【連合長・事務局長】～資料№.４～

ア 経過

今までに長野県と利用者団体の間で、創造館閉館後の活動場所の確保及び現況についての説明会が繰り返し開催されている。令和４年３月に広域連合が免許センターの要望を行い、令和４年 10 月に長野県知事から免許センターの設置に対する回答があり、その中で令和５年度末をめどに飯田創造館を閉館する旨の話があった。免許センターの設置と引き換えに、飯田創造館が閉館になると受け止めたと思う。また、それを報道で知ったことで唐突感もあった。実際の経過は、10 年程前から飯田市へ創造館を移管したいという話が県からあり、飯田市としては現行施設の長寿命化、統廃合を検討している中で、新たに施設の移管を受けることは難しいと回答した。また、県で負担している約 3,000 万円の指定管理料を飯田市が負担することは難しい。免許センターについては平成 23 年度に要望をしてから、いろいろな候補地について検討してきたが合意に至らず、令和元年６月に県警から免許センターを併設する形で飯田警察署を建て替える案が出てきた中で、十分な駐車場を含む敷地面積が確保されており、利便性の確保のために公共交通機関が近くアクセスが良いという条件を整理した上で、将来のリニアとの関係も考慮して、現地が最適であるという結論を出した。県としては、より広域的な文化政策は県で行うが、住民に密着したものについては、市町村で行うという考え方をずっと持っているので、それを変えることは難しい。創造館の利用者の活動場所については、既存の公共施設で確保するという方針でやってきた。

イ 現況

令和５年４月 29 日（土）に創造館を考える会から 5,128 筆の署名を提出いただいた。要望の内容については、南信地域の住民に寄り添い、飯田創造館の価値を直視し、南信地域で現状と同等以上の設備を備えた飯田創造館の存続を南信州広域連合、飯田市として県に求めるよう要望するというもの。

また、同日、利用者団体との懇談会を行い、出席者は利用者団体の 74 名、市議会議員、報道機関等含め 96 名であった。当日、YouTube による動画配信も行い、115 回視聴された。

利用者としては、まず創造館を存続できないかを検討することが先ではないか、というご意見をたくさん頂いたが、運転免許センターの機能と創造館の機能を両立させることは難しいと考えている。運転免許センターの機能と創造館の機能を両立させるには、決定的に駐車場の確保が難しい。飯田警察署に運転免許センターを併設させた場合、駐車場が 300 台から 350 台分いるということは県警から話があった。ここへ創造館の利用者分の駐車場を確保することは敷地面積から見て難しい。

県へは利用者の意見を一回投げたので、この状況を県としてもしっかり把握し、これからどのように進めていくかを県が主体で考えてほしいという話をした。具体的な打ち合わせはこれから広域連合事務局や飯田市が県と打ち合わせをしていく。

（質疑なし）

(6) 看護師等確保対策修学資金について　【事務局次長】～資料№.５～

ア 令和５年度応募状況　16 人

イ 選考審査会

日時　令和５年５月 23 日(火)　19 時 00 分から

場所　広域連合事務センター

選考委員　10 名(医療福祉専門部会員、副管理者、医師会、包括医療協議会、看護協会、事務局)

※そのほか、制度の現況及び今後の日程について資料を基に説明がなされた。

(質疑なし)

(7) 介護のしごと相談会の開催について　【事務局次長】～資料№.６～

ア 目的

介護の仕事に興味を持っている人と介護事業所とのマッチングを行い、一人でも多くの人を当圏域の介護事業所で確保することを目的とするもの。

イ 開催日時

令和５年６月 10 日(土)10 時 00 分から 12 時 00 分まで、13 時 00 分から 16 時 00 分まで

ウ 開催場所

エス・バード　B201・202・203・204

エ 参加対象

※既に申し込み期間終了

24 ブース設置予定

来場者については予約不要

(質疑なし)

(8) 特別養護老人ホーム飯田荘、第二飯田荘の入所定員の変更について　【長寿支援課長】～資料№.７～

ア 経過

飯田荘及び第二飯田荘は飯田市社会福祉協議会が飯田市から指定管理を受けて運営を行っている。以下の理由をもって令和５年６月１日以降の定員変更の申し出があった。

イ 定員変更の理由

社会福祉協議会全体の人員不足及び介護・看護職員の退職補充ができていない現状に加え、特養勤務の職員１名が療養休暇に入り、施設運営に係る職員体制の確保が深刻な状態となっている。

看護体制や夜間勤務体制、非常勤職員の配置を考慮し、最大限有効な人員配置をとっているため、施設間の職員移動が困難である。

２荘の定員の平準化を図ることにより、現職員体制で施設運営を継続したい。

ウ 定員変更の内容

【飯田荘】

短期入所 10 人を廃止し、長期入所を 10 人増加して 40 人とする。

広域枠設置割合 50%により、広域枠が 5 人増となる。

【第二飯田荘】

長期入所を 10 人減少とし、40 人とする。

広域枠設置割合が 60%であるため、広域枠は６人減となる。ここに市枠１人を当て５人減とする。

※２荘合わせると長期入所と広域枠については変更はなし。短期入所が 10 人減少する。

エ 入所への影響

長期入所と広域枠については２荘の合計に変更がないため、影響はない。

短期入所については２荘の合計が 10 人減少するが、現在、新型コロナウイルス感染症対策により、入所者数を制限しているため、現在の入所者に対する影響は直ちにはない。しかし、受け入れ枠は減少するため、新たに利用希望者があった場合は、他の施設を案内する。

（主な意見等）

喬木村：今回の入所定員の変更は恒久的措置なのか現在の人員不足に備えるための一時的な措置なのか。

長寿支援課長：社会福祉協議会の人員不足状況を聴取した中では今回の変更内容で続けていきたい。

喬木村：短期入所の 10 人減はずっとこのままの体制でいくということか。

長寿支援課長：短期入所は 10 床減少するが、民間でもショートステイ事業を行っているところが増えてきているので、民間へもお願いしていきたい。

阿智村：なんとか人を集めて、人が増えればまた元に戻していただきたい。介護のしごと相談会といった取り組みは非常に良い。どのような告知をして多くの人を集めるのか。

事務局次長：告知方法については、飯田市の広報誌への掲載、チラシの配布については県内及び近隣の県にある約 20 校の医療介護保健学校へ配布するほか、飯伊の各高校へも配布する。また、各町村の社会福祉協議会やハローワークに関連する機関へチラシを配布する。

(9) 稲葉クリーンセンターの運営状況について　【飯田環境センター事務長】～資料№.８－１、８－２～

※稲葉クリーンセンターごみ搬入量と売電相当収益（令和３年度～令和４年度）について、資料に基づき説明がなされた。

ごみの搬入量について、搬入量実績値が計画値を上回っている。施設計画値は施設の運転に係る効率的な数値を示したものであり、この数値からの過剰な解離は、運転日数の増加、メンテナンス工事費及び残渣処分料その他全体需用費の増加といった悪影響を及ぼす。今後もごみ減量化キャンペーンをはじめとする、ごみ減量化の啓発、施設の効率的運営及び長寿命化に取り組む。

バイオマス発電は、同じ搬入量で比べると売電単価が高く、売電相当収益も上がる。逆にバイオマス発電の対象とならないプラスチック類、ビニール類及び合成樹脂等のごみ搬入量の比率が多くなれば、売電相当収益が下がる傾向にある。プラ資源循環促進法への対応が進めば、バイオマス比率の向上も期待される。引き続き、各市町村においてプラごみ資源化の取り組みが進むよう環境整備を行っていきたい。

(10) 構成市町村の職員共同採用試験について　【事務局次長】～資料№.９～

南信州圏域内の６市町村（飯田市、松川町、根羽村、下條村、売木村、天龍村）が行政保健師を採用するために共同で行う試験。

◇試験申込受付期間

令和５年４月 28 日（金）から令和５年５月 24 日（水）まで

◇第１次試験

令和５年６月３日（土）から令和５年６月９日（金）まで

◇第２次試験

第１次試験の合格者を対象に各自治体が個別で実施する。

（自治体によっては、第３次試験を実施する場合がある）

※その他、試験概要について実施要綱に基づき説明がなされた。

（質疑なし）

(11) 長野県南部国道連絡会総会について　【広域振興係長】～資料№10～

令和５年度長野県南部国道連絡会総会等について、資料を基に日程及び概要についての説明がなされ、各発表者の案について承認された。

（質疑なし）

(12) 飯田広域消防本部から　【消防長】～資料№11～

令和４年、令和５年の市町村別火災発生状況について資料に基づき説明がなされた。

◇火災総件数 39 件(昨年同日比１件増)

（質疑なし）

(13) その他

南信州広域連合の現況について

※資料配布のみ

４　長野県から

【南信州振興局長】

新型コロナウイルス感染症が２類相当から５類へ移行し、３年余の間にワクチン接種や感染防止対策の呼びかけ等、様々なご協力をいただいた。まだ、感染症が無くなったわけではないので、引き続きご協力いただきたい。

令和５年度地域発元気づくり支援金について 37 事業の申請が合った内 28 事業 5,716 万円を内定した。事業予算 3,500 万円余の残があるため、２次募集を行う。

（主な意見等）

天龍村：地域発元気づくり支援金について、県予算が 9,200 万円余ある中で１次募集は 37 事業 7,600 万の応募ということで、少し残念に感じる。もっと多くのみなさんが第１次で応募してほしい。今回は 37 件の応募があったのに、28 件内定であり、９件が不採用となっている。不採用となった内容を教えてほしい。また、年々制度が厳しくなっているのではないか。もう少し幅広く採択できるような運用をしていただきたい。

振興局長：全体として申請件数が落ちているのは事実である。近年、住民共同でやっていく事業が少なくなっている。地域として高齢化が進んでいることや、役場職員が他の事業を抱える中で、元気づくり支援金の新たな事業を始めることはなかなかできない現状がある。採択については、申請時期が１月頃であり、熟度が足りていない部分はある。継続的に相談に応じる中で、熟度を高めて応募していただくよう話をしている。

リニア活用企画振興課長：企画の内容はイベント系のものや物品購入のようなものが多い。

天龍村：なるべく多くのみなさんが応募できるのが理想。県の予算の中で 9,000 万円の割り当てが減るようでは困るので、なるべく周知されるように協力していく。

５ 閉会　16 時 50 分